



佐野小だより

web版④

学校教育目標

「豊かな心を持ち、
たくましく生きる子」

重点目標 ★高め合う子★

支え合い…思いやる心を持ち、支え合う子
学び合い…自分の考えを持ち、学び合う子
鍛え合い…健康に関心を持ち、鍛え合う子

教室拝見

6年 算数

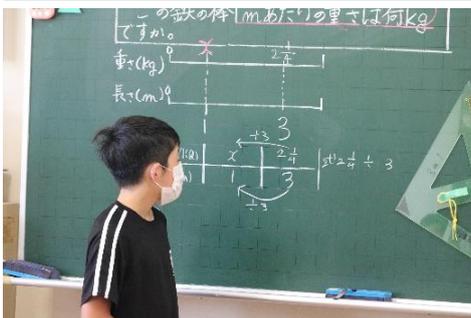
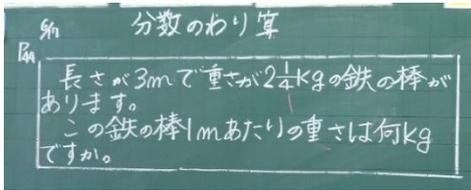
6年生の算数では、「分数と整数のかけ算とわり算」の単元を

学習していました。

まずは、前時までの復習として、『約分』が必要な『仮分数÷整数』について、計算問題と文章問題を通じて、定着の度合いを確認しました。

先生は、答えとともに、これまで学習した「なぜ、わる数よりも分母が増えるのか」についても、子どもたちと確認していきます。計算の技能だけでなく、計算の意味理解の定着もていねいに行っていました。

復習が終わったところで、本時の学習に関する問題に入っていきます。



算数では、文章問題、分数や小数の問題になると、子どもたちは苦手意識をもち始めます。しかし、問題文から、「わかっていること」や「求めようとしていること」の数量関係さえつかめれば、立式や課題解決につなげることができます。

先生は、そのことを子どもたちに日頃から働きかけているので、ここでも、問題文に出ている数量関係を線分図や表に表した上で、立式につなげていました。

そして、子どもたちに、「昨日までの学習と違うところはどこ？」と問いかけ、わられる数が『仮分数』から『帯分数』にかわり、今日は、『帯分数÷整数』の計算について学習することをおさえました。

その後、子どもたちは、前時学習したことを生かして、帯分数を仮分数に直し、計算をしていきます。今日の学習は、ここで終わりません。

先生は、さらに、「違う方法でも計算できるかな？」と投げかけます。すると、数人の子が「できます。」と

自信たっぷり。「じゃあ、隣の人とどんな方法でできそうか、少し相談してごらん。」とさらに投げかけ、見通しをもたせてから、自力解決に入りました。

子どもたちからは、2通りの方法が出てきました。一つは、『わられる数やわる数に同じ数をかけてもわっても答えは変わらない (例) $4 \div 2 = (4 \times 3) \div (2 \times 3)$ 』という計算のきまりを使う方法。もう一つは、 $2\frac{1}{4}$ を2と $\frac{1}{4}$ にわけて計算し、最後に両方を合わせるという方法。これまでの学習を生かして、とてもすばらしい考えが出されていました。

子どもたちを見ていて感心したのは、わからないとき、困ったときにすぐにあきらめるのではなく、『前に学習したことが使えないかな?』と、ノートの前のページに戻って、似たような学習がなかったか、いっしょうけんめい探して課題解決にあたっていたことです。

日頃から、単にノートが問題を解くためだけでなく、学習に活用できるツールとして、まとめられているからこそ、こうした学びの姿が見られるのだと思います。



佐野っ子ギャラリー (1年生と仲良くなる会)

